

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【公開番号】特開2013-133949(P2013-133949A)

【公開日】平成25年7月8日(2013.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-036

【出願番号】特願2011-282886(P2011-282886)

【国際特許分類】

F 24 F 1/36 (2011.01)

【F I】

F 24 F 1/36

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月10日(2013.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る空気調和機の室外ユニットは、少なくとも背面側に熱交換器が搭載された底板を有し、該底板に、前記熱交換器の長手方向に沿って傾斜面からなる導水路を設けてその最低部に排水口を設け、前記底板の前面側の長手方向には、上面の長手方向に補強凹部が形成された凸状部を設けるとともに、該凸状部は、長手方向で分割されて、その間に背面側に向かって傾斜する排水経路が形成されているものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも背面側に熱交換器が搭載された底板を有し、

該底板に、前記熱交換器の長手方向に沿って傾斜面からなる導水路を設けてその最低部に排水口を設け、前記底板の前面側の長手方向には、上面の長手方向に補強凹部が形成された凸状部を設けるとともに、

該凸状部は、長手方向で分割されて、その間に背面側に向かって傾斜する排水経路が形成されていることを特徴とする空気調和機の室外ユニット。

【請求項2】

前記凸状部が断面台形状であることを特徴とする請求項1に記載の空気調和機の室外ユニット。

【請求項3】

前記凸状部を前記底板の前後方向に通水路を隔てて複数条設けたことを特徴とする請求項1又は2に記載の空気調和機の室外ユニット。

【請求項4】

前記排水経路に対応して、前記凸状部の根本部に該凸状部と一体に補強段差部を設けたことを特徴とする請求項1～3のいずれか一項に記載の空気調和機の室外ユニット。